

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	多治見市立明和幼稚園		
実 施 期 間	平成25年11月 1日 (金)		
実 施 概 要	① 祖父母参観 (家族参観) ・ 祖父母と一緒に楽しいひとときを過ごす。 ・ 運動したり、歌ったりする姿から子どもの成長ぶりを知ってもらう。 ・ 祖父母に感謝の気持ちをもちながら、触れ合いを楽しむ。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	19人	計 189人
	地域関係者	170人	
実 施 状 況	・ いつもは会えない遠方からの祖父母や、多治見市内に住んでいながらもなかなか会えない祖父母と一緒に触れ合って遊ぶ計画をする。 ・ 戸外にて子どものリズム遊び『なんじゃもんじゃ忍者』を披露した後、一緒に『すてきな友達』を踊り、子ども達との触れ合いを楽しんだ。その後、各クラスにて子ども達の生活をみてもらう。 ・ クラス活動では、いきいき遊びを子どもと一緒に行った。その後、年長児は『花いちもんめ』『肩たたき』『いきいき遊び』『歌』、年中児は『触れ合い遊び』『肩たたき』『いきいき遊び』『歌』、年少児は『手遊び』『触れ合い遊び』『いきいき遊び』『歌』を披露する。 ・ 上記のように伝承遊びやふれあい遊びを中心とし、祖父母とのコミュニケーションの場を設けた。そして、子どもたちが作ったプレゼント (年少児：キーホルダー、年中児：祖父母の顔マグネット、年長児：染物の小物入れ) をそれぞれ渡し、降園した。		
成果及び課題	・ 祖父母の方からは、「花いちもんめの時に名前を呼んでもらってすごくうれしかった!」「子どもと一緒に声をあげて遊べて楽しかった!」「子どもの園での様子が知れてよかった!」「元気に歌う姿や張り切る姿がみえてうれしかった!」「肩たたきをしてもらったり、手遊びを一緒にしたりしたことで涙が出てしまった!」という感想が聞かれた。 ・ 祖父母と子どもとの触れ合いや、お孫さんのことをよくわかっておられること、家では見たことのない子どもの姿など、いろいろな発見をされ、楽しいひとときがもてたようだった。また、仕事の関係や遠方で来られない祖父母もみえたが、保護者が代わりに来られ、子どもの様子を伝えてもらえたようだ。 ・ 今後も家族で子どもの成長を見守ってもらえるよう、又、子育ての相談役として祖父母の方にも子育てに参加していつてもらえることを願っている。		